

新春 2019年

イエスキリストの願い

「1つとなる」

2019年度カレンダー付き

CENJ NEWS

クライスト・フォー・ザ・ネーションズ・ジャパン 聖書学院

2019年1月・2月号 NO.174

「イエス様の願い」 大祭司の祈り-ヨハネの福音書17章

「1つとなる」



「わたしは、ただこの人々のためだけでなく、彼らのことばによってわたしを信じる人々のためにもお願いします。それは、父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにるように、彼らがみな一つとなるためです。また、彼らもわたしたちにおるようになるためです。そのことによって、あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるためなのです。」ヨハネの福音書17章20節～26節



CFNJ 聖書学院 学院長 鍛冶川利文

2019年、新年あけましておめでとうございます！

この1年の皆様のご多幸を、心よりお祈りいたします！

年の初めにあたりまして、私たちの主であるイエス様の願いに目を留めたいと思います。イエス様の願いは、「1つとなる」ことです。

ヨハネの福音書の17章には、イエス様の父なる神に向けられた祈り、願いの言葉が語られています。それはみな「1つとなる」ことです。

「みな一つとなるため」

「それは、父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにるように、彼らがみな一つとなるためです。」(17:21)

この17章は「大祭司の祈り」と呼ばれる個所で

す。イエス・キリストが父なる神と弟子や民との間に立って大祭司として執り成す個所です。その内容は3つに分かれます。「ご自身の為」、「弟子達の為」、そして、「全世界の信者の為」です。そしてその中には、現在と過去と、そして将来、誕生するであろう全てのクリスチャンも含まれます。勿論、今の私たちも含まれています。イエス様の願いはそれらの者が、「みな1つとなるように」です。

年の初めにあたり、このイエス様の願いに心を向けたいと思います。

このヨハネ福音書の17章21節の祈りの言葉は、

とても有名な言葉です。「WCC」という大きな組織があります。「World Council of Churches」これは、「世界教会協議会」という組織で、この組織は、プロテスタント(異端を除く)のすべての教派とイギリスの聖公会とギリシャ正教、カトリック(オブザーバー)を含む、すべての教会が加盟している世界最大の組織です。このWCCが掲げる言葉がこの御言葉です。

「それは、父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにるように、彼らがみな一つとなるためです。」(ヨハネ17章21節)

教会が「1つとなる」という願いは、イエス様の御心でありながらも成し遂げられていない、又、教会の最初からある、もっとも古く、そして、最も大きな問題の一つです。古くは弟子達の中に既にありました。ペテロとヨハネや弟子たちの中には常に誰が自分たちの中で一番偉いのかという論争がありました。(ルカ9章46節)又、パウロの宣教中もバルナバとパウロは分れて宣教しました。エルサレム会議の時もユダヤ教の割礼を主張するグループとの分かれがあり、やがて紀元後70年にエルサレムが崩壊した後、中心はローマに移り、その後、5つの地域(エルサレム・アンテオケ・アレキサンドリア・ローマ・コンスタンティノポリス)に教会の本部が分かれていきました。そしてそれがやがて2つに、ローマカトリックとギリシャ正教に分かれ、やがて、宗教改革の時、ローマカトリックから分れプロテスタントが誕生し、そして様々な教派が誕生しました。今、現在、教会は、大きく分けて3つのグループですが、プロテスタントの教派の数はとても数えきれません。

何故?これほどまでに、たくさんの教派が生まれたのでしょうか?パウロは「ほんとうのもの(信者)が明らかになるため」(Iコリント11章19節)と説明しますが、しかし1つの流れから始まったものが幾つにも分かれ対立したり、裁きあったり、又、あるときは殺し合ったりすることが、この世の人たちにとっての大きなつまづきとなっているのも事実です。これはキリスト教だけの問題ではなく多くの宗教でも見られることです。

日本の教会も最初は横浜バンドで、日本最初のプロテスタント教会は「日本キリスト公会」と名乗り

ました。それは教会という名前を避けて、「公」、おおやけの会という超教派の名前で始めたのです。でもやがてその名前は止めて、「長老派」という流れになって行きました。最近各地でクリスチャンの一致の為の集会在持たれています。これまでもキリスト教はこのイエス様の祈りの実現の為に、様々な、組織、集会、ミーティングや会議をしてきました。しかし、過去、これまでの結果は、そのような試みは、あまりうまく行っていません。そして、これからも難しいと思います。何故かという、今も、様々な価値観がますますぶつかり合うような世の中に向かって行っているからです。例えばアメリカのトランプ大統領が主導している米国第一主義や移民問題。又、同性愛などの問題、特に同性愛者同士の結婚の問題は、キリスト教会の内部でも教派を超えて意見が分かれる今の問題です。それを1つにするのはとても難しいことです。

イエス様の願いによる祈りは「彼らがみな1つとなるため」です。この祈りを私たちはどのように受け止め、理解し、又、それを実現していくのでしょうか?それを考えたいと思います。

先ずこの「1つ」とは何でしょうか?この1つという言葉をもどのように理解したらよいのでしょうか。それは、「父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにるように」(17章21節)という前提があります。先ずこの一致は、天の父なる神からはじまる一致です。天の父の元から流れ出てくる一致です。(詩篇133篇1節)ですからこの1つとは、「父と子との一致」であり、「三位一体の神の持つ一致」ということです。そして更に、この一致は、十字架によって生み出された一致です。罪の贖いを通して実現される所の一致でもあります。ですからこの一致は、「天からの一致」であり、「天から始まる一致」です。この世が作り出すような会議や集会の決議で決まる画一的な議題の1つではなく、それは「関係」から生まれるものです。

その「関係」とは何でしょうか?それは「あなたがわたしを愛されたように。」(23節)という「関係」です。先ず父が子であるイエス様を愛されました。そして子であるイエス様は、その父の愛に十字架で答えられました。ここに父なる神に対するイエス様の愛があり、一致があるのです。それは子が父に

従うという従順による一致です。そしてイエス様の願いは、私(イエス様)が父なる神に愛されているように、私たち(信者)も愛されている存在である事を知る事です。父なる神とイエス様との間にある愛の関係が、私たちの中にもあるように願っておられるのです。そして、まずこのような関係の一致を信者の中に築きたいとイエス様は願われました。

ですから父、子、聖霊と、三位一体の神の在り方が違うように、教団教派というあり方が違うことは問題ではありません。むしろその違いにこだわり続けるならば、決してイエス様の仰っておられる「1つ」になることは不可能です。なぜならイエス様が求めておられることは、外的な画一的な一致ではなく、内的な霊的な一致だからです。そしてそうなることの目的は、この愛の姿を見て、イエス様が父なる神のもとから来られたお方であることをこの世が信じ、世のすべての人たちがイエス・キリストこそ救い主であることを知る為ことです。

「それは、父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにるように、彼らがみな一つとなるためです。また、彼らもわたしたちにおるようになるためです。そのことによって、あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるためなのです。」(ヨハネ17章21節)

それは全世界の救いの実現にはかなりません。ですから外見的な一致が、すぐにこの世の人々の救いに結びつくものではありません。むしろ、クリスチャンが表面上で一致団結し、1つの集団になったり、一致の目的だけで大きなイベントを開いたりするならば、むしろこの世は恐れを抱きます。なぜならこの世は神を知らず、教会を憎んでいるからです。しかし、愛による一致ならばこの世の人々は嫌でも神の存在を認めるようになるようなのです。それがイエス様の願いです。

「正しい父よ。この世はあなたを知りません。しかし、わたしはあなたを知っています。また、この人々は、あなたがわたしを遣わされたことを知りまし

た。」(ヨハネ17章25節)

ですから私たちは認めましょう！私たちはすでに愛されたものです。父と子の愛の中に入れられたものです。その事実をこの世が認めるようになることが、証しであり伝道です。何か上手に人を救いに導く方法を学ばなければならないとか、聖書の難しい神学を学ばなければならないということよりも、また、一致の為の大きな聖会を緊急に開くということよりも、すでに父なる神により、又、イエス様が十字架にかかれるほどに愛されている事実をこの世に示すことです。

「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるので。」(1ヨハネ4:10)

そしてイエス様の願いは一時的な1つの状態を知るだけではなく、その愛の内にとどまり続けることです。長く続き、「いっしょに住む」までになることです。

「いっしょにおらせてください」

「父よ。お願いします。あなたがわたしに下さったものをわたしのいる所にわたしといっしょにおらせてください。あなたがわたしを世の始まる前から愛しておられたためにわたしに下さったわたしの栄光を、彼らが見るようになるためです。」(17章24節)

イエス様の最終的な願いは、信者すべてを「わたしのいる所におらせてください。」という願いです。これが最後の晩餐での最後の祈りの言葉です。この言葉の原語の意味は、「そのようにさせたい」という強い求めです。イエス様の最後の願いは、私の愛するものを私の元に迎えたい！、引き寄せたい！、住ませたい！と言うことです。その為にやがてイエス様はこの地上に再び来られます。再臨の時です。イエス様がすべての信者をご自身の元に迎えるために、この地上に再び来られます。その時こそ、この祈りが実現する時です！これは

CD販売・刊行物

●お申し込みは/学院事務局まで

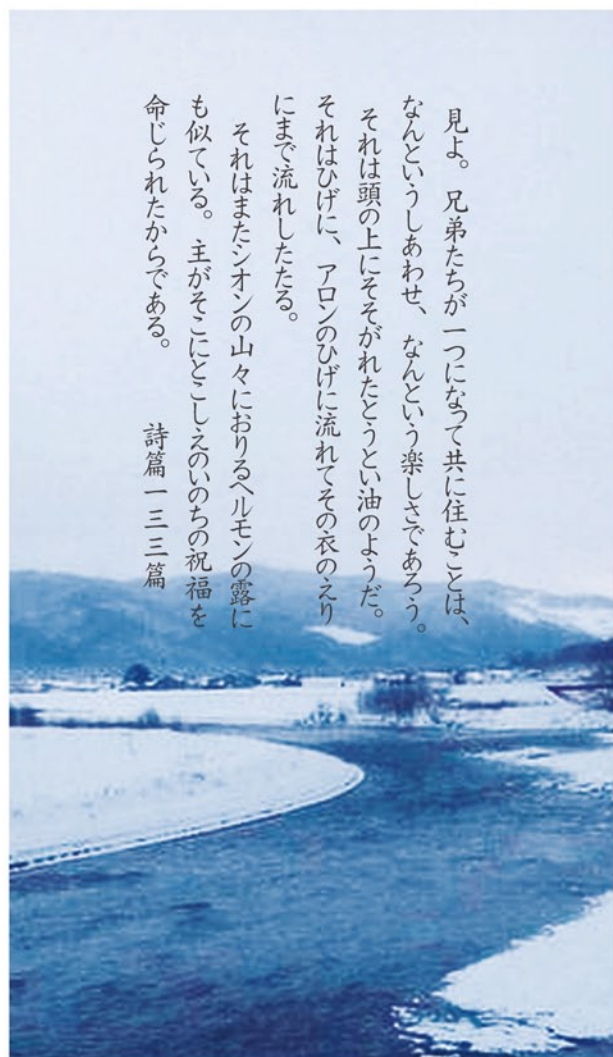
※サンプルは、下記のページで聴くことができます。

<http://www.cfnj.com/media.html>

信者にとって待ち望んだ希望の時であり、イエス様にとっても世の始まる前から父なる神によって備えられた栄光を受けられる時です。(24節)

イエス様はその実現の為に、今も私たちの内に聖霊様を通して働いておられます。そしてこれからも働かれます。このイエス様の祈りは、今も私たちを支え導いておられます。私たちもこの祈りの内に歩んでいきましょう。

「そして、わたしは彼らにあなたの御名を知らせました。また、これからも知らせます。それは、あなたがわたしを愛してくださったその愛が彼らの中にあり、またわたしが彼らの中にいるためです。」(17章26節)



見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、
なんといいあわせ、なんといい楽しさであろう。
それは頭の上にそそがれたとうい油のようだ。
それはひげに、アロンのひげに流れてその衣のえりに
まで流れしたる。
それはまたシオンの山々におりるヘルモンの露にも
似ている。主がそこにとこしえのいのちの祝福を
命じられたからである。
詩篇一三三篇



「神の指がふれた時」

定価/1枚(CD)
(送料別) **700円**



「神のみことばのいやしの力」

定価/1枚(CD)
1,000円
(送料別)

CFNJ小冊子
無料プレゼント!



●お申し込みは/学院事務局迄

「聖霊のバプテスマを受けるには」

(ゴードン・リンゼイ著)

「いやしの信仰」(ゴードン・リンゼイ著)

「山をも動かす祈り」(ゴードン・リンゼイ著)

「主の恵み尽きることなく」

(鍛治川 紀子著)

2019

CFNJ CALENDAR



「きょうあっても、あすはかに投げ込まれる野の草さえ、神はこれほどに装ってくださるのだから、ましてあなたがたに、よくしてくださらないわけがありませんか。信仰の薄い人たち。」(マタイの福音書6章30節)

1 JAN

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

●15日/3学期開始

2 FEB

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

3 MAR

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

●8日/卒業式

4 APR

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

●15日/入学式

5 MAY

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

●2日~4日/YFN

6 JUN

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7 JUL

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

●5日/1学期終了

8 AUG

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9 SEP

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

●9日/2学期開始

10 OCT

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11 NOV

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12 DEC

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

●6日/2学期終了

感謝！ 第150回記念「合同賛美祈り会」



■札幌周辺の教会を中心に行われている「合同賛美祈り会」が、始まってから、この11月30日で丸17年を迎え、節目の150回目の記念の特別な集いが学院で行われました。この日はゲストに、エブリーネーションチャーチ横浜の「スコット・ダウマ師」をお迎えして、いくつかの教会混成のチームで賛美をしたり、これまでの歩みを振り返る映像を見ながら、祝福に満ちた時となりました。今回は特別に2018年が北海道にとっても命名150年目ということで、150の数字が重なるときとなりました。7月、12月を除く、月1度、年に10回、いくつかの教会に集い、共に「北海道からリバイバルを！」と心合わせた賛美と熱い祈りがいつも捧げられています。詩篇の133篇1節の「見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんといいあわせ、なんといい楽しさであろう。」この御言葉の通り、共に集い、共に祈り、そして共に主をほめたたえ、共に交わりをする。これこそ天からの楽しみとしあわせを感じる時です。この集いがこれからも続けられ、大いなるリバイバルへとつながって行けますように、お祈りをお願いいたします！





「それは、父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにるように、彼らがみな一つとなるためです。また、彼らもわたしたちにおるようになるためです。そのことによって、あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるためなのです。」 (ヨハネ17章21節)



Merry Christmas & Happy New Year!! CFNJ クリスマスパティーレポート!

お知らせ

■去る12月1日(土)の午後に、学院では一足早いクリスマスパーティーを開催しました。2学期の実習活動の総まとめとして、学生たちが一致して祈り、準備したパーティーは、主の臨在と、喜び、楽しみがいっぱいの素晴らしい集いとなりました。男子チームによるクリスマスソングメドレーを皮切りに、美しい姉妹たちによるゴスペルフラ、マジックショー、大喜利のような一本グランプリ、そしてハイライトは学院のドラマクラスチームによる、ミュージカル「命の泉」の上演と、盛りだくさんのプログラムで、参加者一同喜びと感動に包まれるひとときとなりました。油注がれたドラマに感動した未信者の参加者の一人は、このドラマのDVDを購入したいと言われ、翌日の日曜日には地域の教会の礼拝にも参加されました。すべては真実な主の恵みと栄光の現れでした。心から御名をたたえます。来るべき年が、皆様にとって。希望と祝福に満ちた年となりますようお祈りいたします。



ご支援のお願い

2019年、新年あけましておめでとうございます！



今年でCFNJ聖書学院は、創立35年目を迎えます。これまでにおよそ470名程の働き人が学び舎から全国に、そして海外へと巣立っていきました。ただただ神様に感謝と賛美をお捧げ致します。

35年前の冬のこの時期に、温かいアメリカのテキサス州からこの北海道に、CFNI聖書学校を卒業したばかりの、チャールズ&ダイアン夫妻がこの地を訪れました。知り合いやあてもなく、ただ御言葉と神への信頼だけで、この地に神学校を設立しました。

今年も3月に10名ほどの卒業生たちが送り出されていく予定です。ご夫妻は現在もご健在で、アメリカのサンアントニオ市で余生を送られおり、今も熱く日本人の魂の刈り取りの為に心合わせて祈り支えて下さっています。この祈りに支えられ、又、今年も働き人の育成に取り組んでいきたいと思っております。

「わたしたちは、わたしを遣わした方のわざを、昼の間に行わなければなりません。だれも働くことのできない夜が来ます。」(ヨハネ9章4節)

今年がどんな年になるかはわかりませんが、何が起ころうとも、このイエス様のお言葉の通り、「わたしを遣わした方のわざ」を熱心に行っていくものでありたいと願っております。今年もお祈りとご支援をよろしくお願いいたします。



1985年創立当時のグリコ夫妻と学院（ビル9階）

CFNJ 聖書学院 学院長 鍛冶川利文

訂正とお知らせ

祝卒業

2018年6月29日(金)

■「ハレルヤ！アルプスコースの学びを終えた事を感謝します。この一年間 リーダーシップの学びを通して 自分の弱さを知りその中で主の力によらなければ自分は何もできない事を学びました。共同生活する中で友とたくさんぶつかり、自分の心がとがれ、前を進めないような時があっても神様は私自身に回復を与え、前を進める力を与えてくださる事を体験しました。卒業後、毎日の生活の中で神様により頼み主の御声を聞き、みことばを土台に歩んで行きたいと思えます。

いつも支えてくださった家族、教会の方々、友達に感謝です。すべての栄光を主にお返しします！」



アルプスコース卒業
小川 拓実

※前号でお知らせしました、「小川拓実」兄弟の卒業生のコメントの内容が間違っていました。お詫びして訂正させていただきます。続けて兄弟の歩みの為にお祈りお願いいたします。

予告! YFN2019

開催のお知らせ!

YFN2019のテーマは、「10シティーズ」です。
ルカの福音書 19:17 より (十の町を支配する者となる。)

●日程 / 2019年 5月2日(木) ~ 4日(土) (2泊3日)



●会場 / CFNJ 聖書学院
●ゲスト・メッセンジャー /

池原 仰一 師
(沖縄プレイズチャーチ)

主が私たちに求めていることは、小さな事に忠実であることです。主に与えられた、1ミナを10ミナとする2泊3日の YFN キャンプに、ぜひ、ご参加ください!

●詳しくは、Webをご確認ください。

<http://cfnjbs.wixsite.com/yfnjapan>

YFN ディレクター 坂本 清憲

CFNJ 特別講義 ゲストスピーカー

2018年度 3学期 授業カリキュラムスケジュール

(2019年1月15日(火)~3月8日(金)迄)

●ゲスト講義は無料です。(自由献金制、テキスト代有料)詳しくは事務局迄。



熊本県大津市、大津キリスト教会牧師
・学院顧問

米村英二 師

●1月21日~25日 (1・2時間目 合計10時間)



沖縄 YHWM 代表

吉田和彦 師

●1月21日~23日 (3時間目 合計3時間)



■東京都新宿区、新宿シャローム教会主任牧師

稲福エルマ 師

●3月4日~7日 (2・3時間目 合計8時間)
8日(金)は、卒業式。(午前9時より)

1・2年コース (必修科目)

(敬称略)

	月	火	水	木	金
1 AM9:15~10:10	新約聖書概論Ⅲ 金 聖圭	内なるいやし アルマ・ベルメホ	御国の福音 金 聖圭	神の国と教会 長沢 克己	異端と現代 松原 望
2 AM10:30~11:25					
3 AM11:35~12:30	説教学Ⅱ 鍛冶川利文	伝道論 坂本 清憲		説教学Ⅱ 鍛冶川利文	霊的権威 J・ジャンセン

アルプスコース (必修科目)

1 AM9:15~10:10	祈り 田中 博	牧会カウン セリングⅢ 小栗 昭夫	教会教育 益田 良一	伝道牧会 の実際 石田吉男	霊的戦い 岡田好弘
2 AM10:30~11:25					
3 AM11:35~12:30	聖書ブライヴ 金 聖圭	リーダーシップの 21の原則 鍛冶川 利文	聖書釈義Ⅱ 松原 望		

選択科目

午後 PM13:30~15:30	ドラムクラス 仲宗根昇平	タンバリンクラス 鍛冶川紀子	ピアノクラス ポイストレーニング 新井田路子	実習 (必修)	ドラマ演劇 クラス 鍛冶川紀子
	英語クラス クリストベリ				

アメリカ・ダラス市のクライスト・フォー・ザ・ネーションズとの提携姉妹校

cfnj.com
 随時願書受付中!

ホームページをご覧ください!

新入生募集中!

2019年4月(新年度)・2019年9月(2学期)・2020年1月(3学期)から入学できます。

無料体験入学
実施中!

平常授業のある3日間(3泊4日)
 ※詳しくは事務局まで。



- アルプスコース(牧師・リーダー養成)
- 1・2年本科コース
- 1学期だけの短期で学ぶ事も可能です。

学院の特徴

- ・臨在溢れる賛美礼拝
- ・御霊に満ちた講師陣
- ・実践的なカリキュラム
- ・国内外のアウトリーチ
- ・独身寮・家族寮完備
- ・アメリカ留学編入制度
- ・多彩な選択科目

<選択科目>

- 演劇クラス
- ピアノクラス
- ワーシップドラムクラス
- 英語クラス
- ヘブル語クラス
- ボイストレーニングクラス



■ SNSでCFNJの最新情報を
 ・ Facebook : @CFNJBS
 ・ Instagram : CFNJ 聖書学院



宗教法人 アジアキリスト福音宣教会・クライスト・フォー・ザ・ネーションズ日本校

CFNJ聖書学院

〒061-3216 石狩市花川北6条5丁目157
 (0133)74-1341・1342 FAX 74-1343

● HP: www.cfnj.com 郵便振替: 02780-4-4688
 ● e-mail: office@cfnj.com 学院長/鍛冶川利文

